



INFINITY

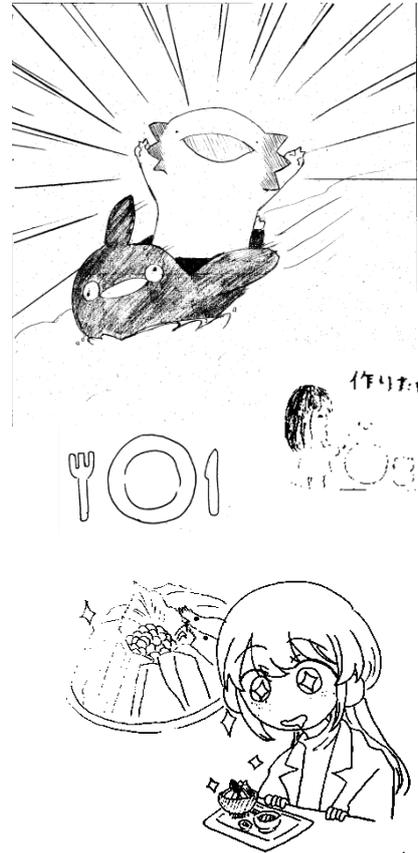


～しおり作成・修学旅行レクのリハ・人権 LHR・球ネギ杯・学年集会～

12/17 (火) 4 限 修学旅行しおり 冊子作り



冊子作るだけなんだけど、もう楽しい♪しよりの隅から隅まで読み込んで、冬休みワクワクしといてください。



作りたい



12/18 (水) 1 限 修学旅行レクのリハ

修学旅行では、2 日目の夜に学年全員でレクリエーションをします。修学旅行委員がクイズなどの催しを企画運営してくれます。委員の人たちは放課後に打ち合わせをしたり、時間をかけて色々な準備をしてくれたり、みんなが楽しめるように頑張ってくれました。今回のリハーサルでうまくいかなかったことを改善して本番に挑むようです。すでに十分楽しそうでしたが、確かに少し手間取ったりしていたので、リハやっておいて良かったと思います(^_^♪本番は、リハでは公開していないお楽しみもあるんじゃないのかな! ?



12/18 (水) 3・4 限 人権 LHR

講演は手話によって行われました。もちろん通訳もありましたが、手話を見るためか、みんなの顔はしっかり上がっていましたね。さまざまな視点から人権というものを学ぶことはとても大切です。今回、人権の講演を受けながら皆さんはどんなことを考えましたか？ 私たちの日常には手話に触れる機会は少ないため、色々と考えさせられる場面もあったのではないのでしょうか。ちなみに、前回の人権 LHR は「お金」にフォーカスした内容でした。職業、教育、娯楽、医療などの経済格差についての是非をあなたはどう考えましたか？ これもまた普段は意識して考えたことがないテーマだったと思います。

これまで、さまざまな視点から人権というものを考えてきました。単純に何が正解か不正解というものがない難しいテーマを考えるたびに、私たちにできることは何だろうかと考えさせられたのではないのでしょうか。社会の中にはさまざまな人権問題があります。答えがないから立ちすくむのではなく、知見を広げ理解を深めることが、私たちにできる第一歩だと思います。学ぶということは、そういうことです。

ある生徒が、「夏休みは手話の勉強を頑張りたいです。」と言っていたのを思い出しました。ボランティア部の生徒だったので、きっとボランティアの活動を通じて、手話に興味関心を持ったのだと思います。こういった学びはとても価値のあるものですね。皆さんも、もう少し世間に目を広げ、興味関心があるものを見つけてみてはどうでしょうか。



12/20 (金) 球技大会

天候にも恵まれ、各種目で盛り上がり、エキシビジョンマッチでは校長先生のシュートも決まり、球ネギ杯は大成功でした。

今回はドッチボールのチーム数を増やしたため、普段ボールを投げたり取ったりあまりしない人は少し大変だったかもしれませんね。正直、どんな雰囲気になるかが少し不安でしたが、様子を見ると、おおよそ楽しんでくれていて安心しました。

期末考査後の授業で、球ネギ杯に向けて少人数のドッチボールの練習をしました。その日の放課後に、体育委員の生徒が、「先生、ドッチはどんな様子でしたか？楽しんでできていましたか？」と声をかけてくれました。大会を盛り上げるために企画を工夫し、ちゃんとみんなが楽しめているかというところまで気にかけてくれて、私はとても嬉しく思いました。

こういった気配りなどに支えられ、球ネギ杯は成功することができたと思います。また、普段の体育授業でも、体育委員だけに頼るのではなく、みんなが協力的に動いてくれていることも、成功の大きな要因だと思います。試合運営などで少しくらい慌てるような場面があっても、すぐに解決してスムーズに進行しました。普段の学校生活で身に付けた力をしっかり発揮できた球ネギ杯になりました。ありがとうございました。アンケート結果は、また配信したいと思います。



12/23 (月) 1 限 学年集会

【成績について】

1 学期の成績から比較して、2 学期の成績はどうだったか。「Q.上がった or そのまま or 下がった？」

この質問に、少しざわつきましたが、それは良い雰囲気でのざわつきでした。もちろん答えは、「A.上がった」です。もう少し詳しく言うと、「平均評定が上がり、成績優秀者も増えた。」です。集会で成績の話をするときって、いい話ばかりではありませんが、中だるみと言われる高校 2 年生 2 学期に、前向きな話ができるって良いことですね。ぜひ引き続き頑張ってくださいませ♪

【スタサプフィードバック・進路について】

勉強の習慣化のキッカケになればと思い、定期考査毎にスタサプのフィードバックを行っています。嬉しいことに、フィードバックをするたびに、スタサプの活用者が増えています。さらにいい感じに活用できた人は、得点が大幅に伸びています。勉強に対するモチベーションってなかなか上がらないのは分かるけど、でも、やっぱり「やってみようよ！」と言い続けたいと思います。

自分がやってみたい事 = will、自分ができること = can、これが、直結していれば困ることはないですが、多くの場合そうではない。この間には必ず、自分がやらなくてはいけない事 = must がある。進路実現に向けて、この 3 つを明確にしていこう。そして、理解した上で行動していく。やってみたい事がない人は、やれそうな事、これなら自分にはできるんじゃないかという事を増やしていこう。自分のやってみたい事がだれかの価値に繋がれば、それは仕事になるが、これもそう多くはない。なぜなら人は、やってほしい事に価値を求めるから。美味しいものが食べたい、かわいい、カッコいい服が着たい、旅行に行きたい、車が欲しい、家が欲しい、病気を治したいなどなど。それらの中で、自分は何を与えられる存在になるのか。そのためには力がいらいます。学力だけでなく、いろんな力が必要です。その力の基盤をこれから始まる高校 3 年生で、これまで一番磨いてほしい。受験勉強、就職活動、みんな同じじゃない、これからのそれぞれの進路実現に向けて、自分の価値を高めていく。それを 45 回生全員で一歩ずつ歩みを進めていきましょう。

【修学旅行について】

まず、3 学期に最終読み合わせをするので、しおりをよく読んで流れを頭に入れておくこと。

○保険証のコピー・マイナポータルについて

1/8（水）始業式までに、保険証のコピーを封筒に入れ、封をして、学年・クラス・番号・名前をペンで記入し担任に渡すこと。
マイナポータルは、スマホで画面確認だけします。

○配送荷物について

・入れてはいけない物の確認 … スプレー類など、チームスにもアップしてあります。ドライバー等はブレーカー落ちるので禁止です。
・入れておく物の確認 … しおり P22 特に以下 3 点についての確認をします。

①財布 & スマホ & しおり & 筆記具を常備するためのポシェット

②小銭入れ 濡れても大丈夫なナイロン製 100 均の製品で十分

③体操服 ※3 学期の体育は、中学校の体操服 or 部活で使用しているジャージ（体操服に準ずるもの）

※持ち物には必ず記名をする等、注意点をよく読んで必ず冬休み中に準備しておくこと。

・配送の日程 … 1/8（水）始業式で荷札を配布します 配送期間は 1/9（木）～1/12（日）です

○貴重品について

スマホ・財布・しおり・筆記具はポシェットなどに入れて常備します。ポケットは落ちて紛失するので NG。また、部屋に置かないこと。
現金のみ預かり可能です。初日ホテルで預けることができます。詳細はしおり P5

※そもそも大金は持ってこないようにする。これをキッカケに電子マネーを始めてもいいかもしれないですね。

（メリット：親から必要分を送金できる。足りなくなったら送金するという方法で対応する家庭は少なくないようです。）

保護者の皆さまへ

年明けはいよいよ修学旅行です。冬季休業中のご家庭での過ごし方が重要です。ぜひ健康的な生活を送れるようご家庭でのご指導よろしく願いいたします。また、①保険証コピーまたはマイナポータル及び常備薬について、②配送荷物について、③キャンセル料について、について、以上 3 点については、保護者会で配布（保護者会に来られていない方には後日配布）した資料を含め、12/20（金）に改めて配布させていただきましたので、ご家庭で確認の上、準備を進めてください。

【2 学期まとめ】

健康管理 & 事故やケガないようにしましょう。まず学校生活を大切にすること。遅刻・欠席・挨拶は、そのバロメーターだと思います。とりあえず、体育授業 & 球技大会で大きなケガがなくて良かったです。しかし、冬休みも引き続き注意が必要です。年末年始の過ごし方は重要です。安全第一、健康第一です。

球技大会はルールやマナー、気配り、思いやりなどの上に成り立っています。そういった意味でも素晴らしい球技大会でした。しかし、2 学期を振り返ると、やはりいくつか指導したことがありました。「つつい」、「これくらいいいか」、「気が緩んで」、原因はだいたいこれです。修学旅行中、色んな場面で「つつい」、「これくらいいいか」、「気が緩んで」が発動したらどうなるでしょうか。

修学旅行を楽しむためには何が大切ですか？修学旅行委員長の言葉を読みましたか？そこに答えが書いてあります。とくに、スマホの使い方は注意が必要だと感じています。実際、ちょっとした悪ふざけからトラブルとなる事例はありました。学校が把握するのは、多分氷山の一角で、表面化されていないものは君たちの日常にあると考えています。SNS や情報管理でのトラブルは、大きなトラブルになりやすいのは知っていると思います。修学旅行中は、スマホの取り扱いについて自由度がありますし、楽しいことも多くあり気が緩みやすくなることも予想できます。北海道に行く前に、もう一度そういった観点で 2 学期を振り返ってみてください。良くなかった場面を思い返し、それぞれが正しい振り返りをして良い状態で修学旅行に臨めるようにしましょう。

「自由」の対義語は「責任」です。274 人が集団生活をする上で、どうあるべきか。「責任」を持った行動を心がけること。一緒に生活する上で、お互いの立場を尊重し（274 人全員の立場も、先生と生徒も、同じ部屋の人、同じ班の人、もちろん仲の良い友達同士も）、安全で安心できる修学旅行を送れるようにしましょう。